

質問区分	教育	議員名	はせがわまさひで 長谷川将秀議員
発言順(通し番号)	NO : 7	所管課・室名	学校教育課

質問事項	通学路の危険個所の発信について
具体的な内容 (質問取り事項)	閲覧できるように学校への配付。

【教育長答弁】

はせがわ
長谷川議員のご質問にお答えします。

通学路の危険箇所を掲載した「通学路安全マップ」は、議員のご質問の中にもありましたが、市ホームページでご確認いただけるほか、各小中学校、各地区等に配布しています。

配布した「通学路安全マップ」は、小中学校での交通安全教室や指導は基より、各地域での通学路の見守り活動や通学路の危険箇所改善等に活用していただいています。

ご自身の経験から、交通事故の痛みや辛さを知っているからこそのご質問であり、学校での呼びかけは、同級生にも交通事故は身近で起きるものであることを認識してもらい素晴らしい取り組みだと思えます。

安曇野市内では、今年になり9月までに6件の交通死亡事故が発生しており、交通死亡事故多発非常事態が宣言されています。

市では、今後とも交通安全啓発の活動を進めるほか、「総合的な高齢者交通安全対策」「子どもの交通安全対策」を重点項目とした第3次安曇野市交通安全計画の策定を進め、市内の交通事故防止に努めていきます。

中学生が主役となって、交通安全意識を高めていくことで、

ご家族やご兄弟の交通安全意識も向上し、児童生徒の交通事故の減少に繋がると思います。想いを込めたご提言をいただき、ありがとうございました。

質問区分	教育	議員名	かつのなお 勝野直議員
発言順(通し番号)	NO : 8	所管課・室名	文化課

質問事項	出前展示について
具体的な内容 (質問取り事項)	美術館博物館連携事業として実施している「学校ミュージアム」は、一年間に小中学校各1校で実施しているが、小中学校各2校に増やしてほしい。

【教育長答弁】

続きまして、^{かつの}勝野議員の質問にお答えします。

文化事業については出前展示の機会を増やして欲しいという質問をいただきました。

安曇野市教育委員会では、市の文化・芸術活動の方向性を示した『安曇野市文化振興計画』というものをつくっています。

この中で、「地域文化を支える人材の育成」として、「次代の文化活動の担い手の育成に努める。特に子供たちが、学校、地域、家庭などの身近な場所で参加、体験、学習できるような文化活動、教育機会の充実を図る」としています。

皆さんが主体的に学ぶことができる環境を整えることが、私たちの責任であると思っています。

また、昨年策定された『新市立博物館構想』では、新規の博物館建設は10数年先に先送りされた一方で、出前展示（コンパクト展示）に力を入れることが盛り込まれています。

議員ご指摘の出前展示も、こうした計画に基づいて実施しているものです。

教育委員会では、小中学校を対象としたいくつかの出前展示

を実施していますが、出前展示を行う目的の中に、皆さんに美術館や博物館に足を運んでほしいという願いが込められています。

安曇野市内には、皆さんがきっと興味を持つであろう自然や歴史や文化に関する面白いもの（素材）がたくさんあります。美術館や博物館にはそれらの資料や作品がたくさん収められています。

これにふれると、自分の住む地域がもっと好きになり、いろいろ調べたり学んでみたいという気持ちが芽生えるに違いありません。

より多くの児童生徒の皆さんが美術館・博物館を訪れて、ふるさと安曇野をもっともっと深く理解し、愛着を持ち、誇りに思えるようになってほしいと願っています。

出前展示の詳細は、教育部長より答弁いたします。

【中学生議会 市長答弁様式1】教育グループ3 / 3

質問区分	教育	議員名	きぶねたくま 木船琢馬議員
発言順(通し番号)	NO : 9	所管課・室名	秘書広報課

質問事項	広報あづみのについて
具体的な内容 (質問取り事項)	図書館に置く・小中学生用の広報を作成

【市長答弁】

きぶね
木船議員の質問にお答えします。

市では、現在、計画、あるいは行っている重要な事業やこれから目指す市の姿、また福祉・環境・子育てなど暮らしに密着した身近な情報を多くの市民の皆さんに知ってもらうため、「広報あづみの」や「市ホームページ」、「ツイッター」、「コミュニティーFM の市政情報番組」などを活用して、広くお知らせしています。

特にご提言の「広報あづみの」や「市ホームページ」は、多くの市民の皆さんに、分かりやすく、かつ、より早く、確実に情報をお伝えする重要な手段です。

市では、「広報あづみの」を原則、月2回、第1・第3水曜日、市内に37,000部を発行しています。

また、市のホームページは、昨年リニューアルし、見やすく、また情報を得やすいよう新しい内容でお知らせしているところです。昨年度は約66万件のアクセスがありました。

木船議員の「図書館に広報紙を置く、小中学生用の広報を作成する」というご提言ですが、これから安曇野市を担う小・中学生の皆さんが政治に関心を持つことは、とても大事なことです。

これからも「広報あづみの」や「市ホームページの」の内容の充実に努め、多くの市民の皆さんに市政に関心をもってもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。詳しくは部長から説明します。

【中学生議会 部長答弁様式2】教育グループ1 / 3

質問区分	教育	議員名	はせがわまさひで 長谷川将秀議員
発言順(通し番号)	NO : 7	所管課・室名	学校教育課

質問事項	通学路の危険箇所の発信について
具体的な内容 (質問取り事項)	閲覧できるように学校への配付。

【教育部長答弁】

はせがわ
長谷川議員の質問にお答えします。

現在、配布しています「通学路安全マップ」は、児童生徒を見守る大人たちを対象にしていた傾向が強かったように思います。

市内の一つの取組みとしては、穂高南小学校で児童が自分の通学路の中の危険箇所を点検し、自分たちで地域安全マップを作り、学区内の危険箇所を共有し安全意識を高めています。

児童生徒が自分たちで交通安全意識を高め、交通安全教育に活用できるように、各小中学校の児童会、生徒会への「通学路安全マップ」の配布や各学校への掲示用拡大マップの配布について、調整していきたいとします。

今後は、通学路の危険箇所等の情報を共有することで、地域と児童生徒が一緒になり、交通事故が無くなることを願っています。

【中学生議会 部長答弁様式2】教育グループ2 / 3

質問区分	教育	議員名	かつのなお 勝野直議員
発言順(通し番号)	NO : 8	所管課・室名	文化課

質問事項	出前展示について
具体的な内容 (質問取り事項)	美術館博物館連携事業として実施している「学校ミュージアム」は、一年間に小中学校各1校で実施しているが、小中学校各2校に増やしてほしい。

【教育部長答弁】

続きまして、^{かつの}勝野議員の質問にお答えします。

小中学校を対象にした出前展示は、「学校ミュージアム」と「コンパクト展示」の2種類が行われています。

「学校ミュージアム」は、4年前から、毎年、小中学校1校ずつに美術作品や博物館資料を持ち寄り、各施設の学芸員が作品について解説する事業です。市内の官民の美術館・博物館13館が実行委員会をつくって連携して実施しています。

大切な美術作品を、皆さんに観ていただくためには、美術品専門の運送業者に依頼する必要があり、高価な費用が必要となるため、毎年、文化庁に補助金を申し込んで取り組んでいます。

議員のご質問のように、多くの学校で開催したいところですが、多くの美術館・博物館の協力・連携と費用がかかることから、毎年、小中学校1校ずつ、きめられた学年だけで実施しています。

この「学校ミュージアム」とは別に、今年度より、教育委員会では、「コンパクト展示」と名付けた昆虫展や岩石展などを開催し、小中学校を巡回しています。本年度は、現在までに小中学校6校で開催または開催予定です。

この巡回展は希望するすべての学校で実施することができますし、廊

下の一角などで展示するため、開催する学校のすべての児童生徒に見てもらうことができます。

平成 26 年度の中学生議会で皆さんの先輩方が提案していただいたものに、市立美術館・博物館の「年間行事ガイド」があります。市立の美術館・博物館の年間予定をまとめて、毎年 4 月に小中学校の皆さん全員にお配りしております。

「出前展示」や「年間行事ガイド」には、児童生徒の皆さんに美術館・博物館へ足を運んでもらい、安曇野市の文化に触れていただきたいという願いが込められています。残念ながら「年間行事ガイド」を配布しても、小中学生の皆さんの来館は、今のところ増加していません。

学校ミュージアムやコンパクト展示を通じて、より多くの皆さんが美術館・博物館を訪れることを期待しています。

なお、小中学生の皆さんは、安曇野市立の美術館・博物館の入館料は無料ですので、ぜひ、「年間行事ガイド」を参考にいただき、色々な施設を訪れてみてください。

【中学生議会 部長答弁様式2】教育グループ3 / 3

質問区分	教育	議員名	きぶねたくま 木船琢馬 議員
発言順(通し番号)	NO : 9	所管課・室名	秘書広報課

質問事項	広報あづみのについて
具体的な内容 (質問取り事項)	広報を図書館に置く・小中学生用の広報を作成

【政策部長答弁】

きぶね
木船議員のご質問にお答えします。

現在の広報紙やホームページの編集にあたっては、分かりやすく、読みやすい文字や言葉で、イラストと写真を多く用いてつくるよう心掛けています。

多少難しい表現も含まれますが、小学校高学年から中学生の皆さんが、ある程度の理解できる内容が多く含まれています。

ただし、木船議員のご提言にもあるとおり、せっかく市の政治や出来事に興味をもった、子どもたちが広報紙をよく理解できない場合もあると思います。

こうしたとき、特に小学校低学年から中学年の皆さんを対象に市のホームページに「あづみのキッズページ」を設けています。このコーナーでは、市役所の仕事や市の歴史上の出来事など、さまざまな情報をお知らせしています。

4月から9月までの半年間で約 9,300 件のアクセスがあり、多くの子どもたちが見ていることが分かりました。

小・中学生の皆さんが、市政について興味をもつことは、とても大切なことですので、各学校からの要望に応じて、広報紙を図書館へ置くことを今後進めていきたいと考えています。

木船議員のご提言を参考に「広報あづみの」や「市ホームページ」などの内容を充実させて、多くの皆さんに市政に関心をもってもらえるように取り組んでいきたいと思ひます。

貴重な提言を有難うございました。